

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報  
(7月7、14日に公表された情報)

**1. 行政による放射性物質検査**

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています。7月7、14日に公表された結果によると、2176件(福島県は1283件)の検査がおこなわれていました。基準を超えたものはありませんでした。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

**(1)検査について基準を超えたものについて**

ありませんでした。

**2. 検査結果について**

**(1)検査結果の概要**

表1. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2019年 3月22日	100%	0.0%	0.0%
2019年 3月29日	100%	0.0%	0.0%
2019年 4月19日	100%	0.0%	0.0%
2019年 5月17日	100%	0.0%	0.0%
2019年 9月20日	99.2%	0.85%	0.0%
2019年 9月27日	99.8%	0.84%	0.0%
2019年10月 4日	100%	0.0%	0.0%
2019年10月11日	100%	0.0%	0.0%
2019年10月18日	100%	0.0%	0.0%
2019年10月25日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月 1日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月15日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月22日	100%	0.0%	0.0%
2019年12月 6日	100%	0.0%	0.0%
2020年 1月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年 1月31日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月21日	100%	0.0%	0.0%
2020年 2月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年 4月13日	100%	0.0%	0.0%
2020年 4月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年 6月12日	100%	0.49%	0.0%
2020年 7月14日	100%	0.0%	0.0%

今回の報告で福島沖の水産物(沿岸魚)の報告はありませんでした。

**(2)京都の空間線量(7月6日~7月12日)**

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)1メートルの高さの推計値は 0.055~0.070 マイクロシーベルト/1時間となっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)報告がありませんでした(台風による業務停止のため欠測)。

特段の変化はなく、平常値です。

### 3. 関連情報

#### (1) 農林水産省は福島県被災12市町村の営農再開の加速化に向けて「市町村を超えた広域的な高付加価値産地構想」を公表(農林水産所湯 HP より)

農林水産省は、福島県の原子力被災12市町村の営農再開の加速化に向けた広域的な高付加価値産地構想を取りまとめましたので公表いたします。

##### 1. 経緯

東京電力福島第一原子力発電所事故により避難指示等があった福島県の原子力被災12市町村(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村及び飯舘村)は、事故から9年以上を経ても、なお営農の再開率が事故前の約3割にとどまっています。

農林水産省では、営農再開の加速化を図るため、福島県、農業者団体等関係機関、12市町村への進出に関心のある実需者及び学識経験者との意見交換を経て、需要の高い農産物等の生産・出荷や加工等の付加価値を創出する取組を、市町村を越えて広域的に進める産地の将来像について取りまとめました

##### 2. 概要

###### (1) 拠点となる加工施設等を核にした取組

- ・広域 JA と米飯加工業者が連携し、中食・外食用の米を広域的かつ長期契約で生産する産地
- ・国産需要が高い加工・業務用野菜を地域内で生産から加工まで一貫して行う産地
- ・国内で原料が不足する加工用かんしょを大規模に生産する産地

###### (2) 阿武隈地域など中山間地での展開を見据えた取組

- ・広域的な共同輸送でコストと品質を両立する切り枝産地
- ・大規模酪農牧場や肉用牛繁殖施設を核に生乳生産量を確保しつつ繁殖基盤を強化する福島県産牛の地域内一貫生産体制

##### 3. 今後の予定

福島県、市町村、JA 等関係機関、実需者等と具体化に向けた取組を推進。

以上